

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	八木北小学校校舎等建設事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	02	01	09	56
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校施設課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	大塚 昌浩				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	学区内の児童	意図	急増する児童の受け入れ態勢を整えることで、教育環境の基盤整備を図る。
事業内容	校舎棟増築の設計業務委託と工事を行う。校舎棟はプールと合わせた施設とすることで、校庭の面積減少への影響を抑える。			
事業開始から現在までの状況変化	平成29年度より継続費設定による設計業務委託を行った。平成30年度より既設プール解体及び増築棟杭工事を発注。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	設計業務の進捗率		49.70	100	%	→→	出来高額/契約額45,608,400円
②	解体・杭工事の進捗率			14.70	%	↗↗	出来高額/契約額147,640,000円	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 校舎棟の増築に伴い、既存校舎の改修、体育館及び給食室の増築等を計画。平成30年度に設計が完了した。平成30年度より、既存プールの解体及び増築棟の杭工事に着手した。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			25,952,800	36,920,800				
事業費(b)(円)			23,268,000	35,602,400				
うち一般財源			23,268,000	9,852,400				
職員給与費(c)(円)			2,684,800	1,318,400				
人役・職員(人)			0.40	0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	対象施設外の懸案事項の整理	③取組における課題(Check)	学校運営への影響をいかに少なくするか。
②H30に実施した取組(Do)	関連する施設を洗い直し、計画の見直しを行う。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	発注者、監理者、施工者と学校との協議により事業スケジュールを精査する。